

CONTENTS

新たな大空町議会始動！(4月臨時会)……2
予算審査特別委員会(3月定例会)……4
新年度まちの予算をチェック！
副町長に川口氏を選任(5月臨時会)……6
一般質問……7

3月定例会
4月臨時会
5月臨時会

おおぞら
議会だより



東藻琴幼稚園・保育園運動会

6月16日に運動会が行われました。
玉入れの写真です。
みんな元気よくがんばりました！



東藻琴幼稚園・保育園



No.48

OZORA
GIKAI DAYORI

発行日 平成30年7月31日

新たな

大空町議会始動!

4月15日に行われた大空町議会議員選挙により、新しい12名の町議会臨時会（4月27日開催）において、議長選挙及び副議長選挙が行われ、新議長に近藤哲雄氏、副議長に松田信行氏が選ばれました。各常任委員会等の構成も下記のとおりとな

りましたのでお知らせします。

近藤議長再選!

副議長には松田氏



〈総務厚生常任委員会〉

- ・三條 幸夫 委員
- ・松田 信行 委員
- ・上地 史隆 副委員長
- ・沢出 好雄 委員長
- ・品田 好博 委員



〈産業建設文教常任委員会〉

- ・齋藤 宏司 委員
- ・松岡 克美 委員
- ・後藤 忍 委員
- ・田中 裕之 副委員長
- ・原本 哲己 委員長
- ・深川 昇 委員



〈議会広報常任委員会〉

- ・田中 裕之 委員
- ・後藤 忍 委員
- ・上地 史隆 副委員長
- ・深川 昇 委員長
- ・三條 幸夫 委員



〈議会運営委員会〉

- ・原本 哲己 委員
- ・沢出 好雄 委員
- ・松岡 克美 副委員長
- ・齋藤 宏司 委員長
- ・深川 昇 委員



近藤 哲雄
議長



深川 昇
議会広報常任委員会委員長
産業建設文教常任委員会委員
議会運営委員会委員
網走地区消防組合議会議員
議員会会長



齋藤 宏司
議会運営委員会委員長
産業建設文教常任委員会委員
議員会監事



沢出 好雄
総務厚生常任委員会委員長
議会運営委員会委員



田中 裕之
産業建設文教常任委員会副委員長
議会広報常任委員会委員



三條 幸夫
総務厚生常任委員会委員
議会広報常任委員会委員
議員会理事



松田 信行
副議長
総務厚生常任委員会委員



松岡 克美
議会運営委員会副委員長
産業建設文教常任委員会委員
網走地区消防組合議会議員
議員会理事



品田 好博
総務厚生常任委員会委員
議員会副会長



原本 哲己
産業建設文教常任委員会委員長
議会運営委員会委員
網走地区消防組合議会議員



上地 史隆
総務厚生常任委員会副委員長
議会広報常任委員会副委員長
網走地区消防組合議会議員



後藤 忍
産業建設文教常任委員会委員
議会広報常任委員会委員
議員会理事

新年度まちの予算をチェック!

新年度予算を予算審査特別委員会にて審議!

平成30年度予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置し、3月12日から14日までの3日間にわたり、一般会計・特別会計あわせて予算総額102億1,488万円の審査を行いました。

限られた予算 有効に活かせ

◎一般会計歳出

ふるさと応援寄附金事業 8,686万円
上地史隆委員

ふるさと応援寄附金事業について、寄附件数増による対応の遅れは生じていないか。

チーズの需要が多くなり、3〜4か月待ちの状況であるが、特に混乱はない。

チーズの需要が多くなり、3〜4か月待ちの状況であるが、特に混乱はない。

販売が好調で売上116%増とのことであるが、この備品購入により今後対応が可能となるのか。

備品購入でチーズを3万個程度増産ができることとなり、十分対応できると見込んでいる。

観光情報クロスメディア発信事業510万円
田中裕之委員

外国人への多言語化パンフレット及びホームページについて、現在古い情報のままで英語、中国語、韓国語は更新されていない状況である。多言語化パンフレットを作成するならば、ホームページの更新もしていただきたい。

予算計上のパンフレットについては、英語等も含め8,000枚ずつの増刷を行う。ホームページも早く新しい情報に更新できるように取り組んでまいりたい。

町営住宅における水滴や結露について、壁にカビが生える子どもなどに影響がある

町営住宅維持補修事業 3,296万円
松田信行委員

と思うが、今後どのように考えているのか。

結露については、構造、排気ダクト、空調等の問題がある。専門的な改修が必要な場合は、対応させていただきたい。

◎総括質疑

公共施設維持費について
松田信行委員

今後の公共施設維持管理について、どう考えているか伺いたい。

平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定したところであるが、今後公共施設を維持するため、更新、統合、廃止など細かく検討していかねばならない状況である。計画では10年間で公共施設を延床面積で約4%削減していくこととしている。

説明資料の電子化について
齋藤宏司委員
今回の予算書を見ても膨大な資料となっているが、将来的に電子化という形となるのか伺いたい。



町営住宅

町長 平成29年度にパワーポイントを導入したが、それを十分活用するまでになっていない。今後順次増やして説明はフロッピーなどを写し出し、タブレットを使用するなど協議をさせていただきたい。

公共施設維持費について

松岡克美委員

Q 女満別小学校改築時は、電気蓄熱暖房が一番安いと当時説明を受けたが、30年度予算書では光熱水費約1,000万円であり、当初と大きく差がある。今後、認定こども園などは自然エネルギーを有効活用した暖房にすべきではないか。

町長

エネルギーの地産地消ということも必要になってくる。認定こども園等で十分検証しエネルギーの地産地消のあり方について、今後議論を深めていきたい。



太陽光パネル

財政健全化について

後藤幸太郎委員

Q 現在基金は55億円となっており、これは行政や議会などが丸となった成果ではないか。

町長

財政健全化で町民に安心いただくことは必要だが、本当にそれが町民の幸せかどうか必ずしもそうではない。最近、地方は余力があるので交付税削減しても良いのではという論調があるが、町の財政調整基金はほとんど増えていない状況である。これからも財政状況を町民にお伝え

をししながら、まちづくり経営を行いたい。

移住定住対策について

後藤幸太郎委員

Q 町有地を売却しているが、果を上げていくが、大手スーパーや大手企業などを誘致するのも必要ではないか。

町長

町の人口が減少していくのは、消費環境というやはり不都合なところ、特に30代の方々の転出をいかに止めるかという大きなポイントである。現在あるスーパーは町外資本が主流になっているが、一方で、地域の方々の営業チャンスというものも確保していかねばならない。商工業や消費環境をいかに整えるかという視点に立つて動かさなければならぬ。完成した広域穀類乾燥調整貯蔵施設を一つのきっかけとして、加工や販売につながるような事業展開を町として地域として目指したい。

高校問題について

後藤幸太郎委員

Q 教育委員会、議会、行政が共に考え方を一つにして行動してもらいたい。

町長

平成18年から高校問題の議論をスタートして12年間経過している。いろいろな方々の意見を多く取り入れた教育委員会が示したビジョンや方針になっていると思う。その実現については、行政の努力だけではなく地域の皆さんや議会などで支えていただければ、そのような体制づくりが必要と感じている。

農業について

後藤幸太郎委員

Q 農業は土地改良がなくては増収としないので、土地改良事業は継続してほしい。

町長

土地改良事業については、現在、地域からの強い要望により、北海道と協議をしている。事業は10年位のサイクルで取り組んで行かなければ

ば、生産性を発揮できないと考えている。

水道の供給について

後藤幸太郎委員

Q 水道の関係については、努力をいっているが、もう少し町民へPRし、一日も早く女満別地区に美味しい水を供給していただきたい。

町長

水道の確保については、町民の方々は、どのような状況になっているのか不安な部分もあるかと思う。広報や町政懇談会など、いろいろな機会を通じて説明をし、一日も早く給水に結びつけられるように努力していきたい。



一般質問 我が町政を問う

3月定例会では2人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。なお、全文記録(議事録)は、後日図書館にて閲覧または町議会ホームページに掲載していますのでそちらをご覧ください。

【上地 史隆】

- ◇両地区の認定こども園の整備について
- ◇大空町国民健康保険保健事業実施計画・第3期特定健康診査等実施計画について

【松田 信行】

- ◇新しい高校づくりに向けた行政としての判断について



議会インターネット中継・録画映像のお知らせ
 議会の情報公開を進めるため、審議状況をインターネット上でライブ映像、録画映像を配信しています。
 傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット等でご覧いただけます。

副町長に川口氏を選任

～教育長には渡邊氏を～

5月臨時会

(5月25日開催)

副町長の選任

平成30年6月11日で任期が満了となることから、引き続き川口明夫副町長の選任について議会として同意しました。



川口副町長

教育長の任命

平成30年6月11日で任期が満了となることから、引き続き渡邊國夫教育長の任命について議会として同意しました。



渡邊教育長

教育委員会委員の任命

平成30年6月11日で任期が満了となることから、平出有美子委員の後任として、矢浪亜由美氏(新任)の任命を議会として同意しました。



矢浪亜由美氏

監査委員の選任

平成30年4月22日で任期が満了となることから、後藤幸太郎監査委員の後任として、松岡克美氏(再任)の選任を議会として同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

平成30年6月11日で任期が満了となることから、田中一委員の後任として、菅野宏治氏(新任)を、また、引き続き、川井政昭氏(再任)、斉藤恒一氏(再任)の選任を議会

として同意しました。



菅野宏治氏

固定資産評価員の選任

平成30年4月1日付け職員人事異動に伴い、田中信裕氏(新任)の選任を議会として同意しました。

町職員懲戒審査委員会委員の選任

平成30年6月19日で任期が満了となることから、引き続き元氏充氏(再任)、廣川和寛氏(再任)と、職員人事異動に伴い南部猛氏(新任)の選任を議会として同意しました。

女満別中学校大規模改修工事(建築主体)

指名競争入札の結果、河西・藤井経常建設共同企業体が契約金額2億250万円で落札しました。工期は平成31年1月31日

までとなっております。

女満別中学校大規模改修工事(設備)
 指名競争入札の結果、船橋西川建設株式会社東藻琴支店が契約金額6,598万8千円で落札しました。工期は平成31年1月31日までとなっております。



女満別中学校改修工事の様子

認定こども園の整備について

教育長 ▼ 基本構想に沿って進めていきたい



うえち ふみたか 議員

問 町内の幼稚園は、それぞれ建築から約40年以上が経過しており、老朽化や耐震面でも心配する声が上がっています。子どもたちの安全を確保するため、保護者や町民からも施設整備に対する要望が上がっています。

教長 本年度は、幼稚園施設の計画的な整備に向け、大空町認定こども園基本構想を策定することにしました。建設予定地は、町有地などから候補地を選び、女満別地区はめっちゃいるど館横、東藻琴地区はB&G海洋

センター前を建設予定地として選定し基本構想をまとめました。

問 保護者世帯228世帯に対してアンケートを行い、新たに期待するサービスの項目では、給食化を望む声が87.4%と最も高く、子育て支援の重要度は、緊急時に一時的に預かるサービスが、54.2%と1番に上げられています。このような保護者の思いは反映されるのか。

教長 今回のアンケートでは、預かり時間の延長や一時預かり、病児保育や支援を必要とする子どもに対する教育保育の充実、さらには給食の提供など、さまざま

ニーズを把握することができ、基本構想では設置運営主体を民設民営としており、提供するサービスの充実が図られるように新たな運営主体と検討します。特に希望の多い給食サービスの提供は実施できるものと思います。

問 今後どのようなスケジュールで進めていくのか。

教長 両地区ともに平成31年度に実施設計を行い、女満別地区は平成32年度の開園を、東藻琴地区は平成33年度の開園を目指したい。



議会の傍聴に来られる方が少ないのが気になります。議会に関心を持っていただくよう研鑽していきますので、お時間がありませんでしたら足を運んでください！

保険者努力支援制度の実績は

町長 ▼ 実績を踏まえ今後を活かしたい

問 住民の重症化予防や健康づくりを進め、医療費の適正化を図るための新たな制度として「保険者努力支援制度」が、平成30年度に創設されることになり、一部が平成28年度から前倒して実施されていますが、大空町の評価はどのようなか伺いたい。

町長 平成28年度は総得点345点中213点、これにより北海道から特別調整交付金として、139万7千円が町に交付されています。

平成29年度は新たな評価指標が加えられ、総得点580点中382点となりました。まだ全国集計がされていないことから、交付金額は決定されていません。

平成30年度は本格実施となることを踏まえ、評価の加点再配分が見直され、総得点850点として評価することになっています。

特定健康診査受診率と特定保健指導実施率は

町長 ▶ 目標を達成していないため新たな取り組みを検討したい

問 法に基づき特定健康診査等実施計画を定めるものと規定されており、この計画による町内の特定健康診査受診率、また特定保健指導実施率の現状はどのようなか。

町長 平成28年度の確定数値で、特定健康診査受診率は44.6%、特定保健指導実施率が35.1%となっています。開始初年度の平成20年度と比較すると、特定健康診査受診率が32.7%から44.6%で11.9ポイントの増、特定保健指導実施率が15.4%から35.2%で19.8ポイント増となっています。

しかしながら、いずれも国の計画目標である60%には達していない状況です。

問 国が目標とする60%とは開きがあり、これは達成できるのか、今後新たにどのような取り組みの。

町長 本町の特徴として国民健康保険の加入者は、網走厚生病院に通院治療されている方が多数おられることから、見なし検診の受診率を高められるよう病院側と協議してまいります。

また、広報やホームページ、せいかつ安心ガイドブック、ふれあいトーク等で周知しています。受診指導実施率の目標値は60%、それを達成すること、また、保険者として努力していくこと、そのことで交付金が多く交付されるメリットはありますが、一番大切なことは、町民の皆様が健康を受診することで、自分の健康状態を把握し生活習慣病対策を行い、いつまでも健康でこの町に住み続けていただくことだと思います。



問 大空町の新しい高校を今後どうするか

答 教育長 ▼平成33年の開校に向けて努力してまいりたい



まつだのぶゆき 松田信行 議員

これからも持続可能なまちづくりと議会活動に努めてまいります。

町長 ▼新しい高校ビジョンを尊重していき

問 大空町の新しい高校づくりについて、12月定例会後今日に至るまで、教育委員会としてどのように協議及び整理されたのかを伺いたい。

これまでの検討経過や新しい高校ビジョンの内容について、町広報やホームページを活用し、周知に努めてきました。

問 12月定例会で、ふれあいトークなどの意見を踏まえ新しい高校のあり方を判断すると町長から答弁をいただいたが、再度考え方を伺いたい。

観点から協議をいただき、教育委員長からは新しい高校づくりに対する支援についてお願いも受けたところです。

教育長 ことし1月に入り、商工会青年部から要請を受け、出前説明会を開催しました。特に、将来に向けての農業及び商工業の後継者育成や、人材確保の重要性に鑑み、地域の活性化に貢献するための人材育成を掲げた新しい高校ビジョンの内容については、一定の評価をいただきました。

町長 高等学校再編の課題については、早くから教育委員会に議論をお願いをし、高等学校教育を考える協議会での議論、保護者のアンケート、町民説明会、そして教育委員の皆様にも教育

また、これまで話し合いを継続しております東藻琴高校を存続させる会とは、1月に2回ほど協議を行っております。新しい高校ビジョンの中で示めた東京農大との連携や公設塾の開設については、特に関心をいただきましたと思います。

2月には、道南の奥尻高校への視察、移管業務の内容や高校の魅力づくりなどについて調査しました。

東藻琴高校存続させる会からは、高校への思いとともに、行政と学校と住民が一体となった高校を応援したいとの要望もいただきました。商工会青年部への出前説明会で、人材が育つなら地元の高専から採用したいとの意見もあつたと聞いております。

新しい高校づくりに関する住民周知についても、今後、平成33年の新

校の3年前となる平成25年1月に北海道教育委員会に要望書を提出するとともに、道からの支援内容の協議や、校舎等、財産の譲渡手続、さらには入学する生徒への支援策も、さまざま講じながら開校に向けた準備が進められてきたところです。

これまでの協議において、

問 道教委に対する町としての要望時期は

答 町長 ▶私の任期中に高校統合の要望を行うべき

問 取り組みの一つとして奥尻高校への視察という答弁をいただいた。現時点の大空町の新しい高校づくりに置き換えた時、教育委員会はどうか考えているのか。

取り組みの一つとして奥尻高校への視察という答弁をいただいた。現時点の大空町の新しい高校づくりに置き換えた時、教育委員会はどうか考えているのか。

教育長 奥尻町では町立への移管に際し、開校の3年前となる平成25年1月に北海道教育委員会に要望書を提出するとともに、道からの支援内容の協議や、校舎等、財産の譲渡手続、さらには入学する生徒への支援策も、さまざま講じながら開校に向けた準備が進められてきたところです。

いこと、校名や校歌などを決めるための具体的な協議や事務手続というものも数多くあり、開校までのロードマップをしっかりと作成し、確実に事務を進めていく必要があると考えております。

問 道教委に対して、町としても要望しなければならぬと思うが、どうか考えているのか。

町長 高校の魅力化プロジェクトを立ち上げて、高校に対して町民が応援する仕組みも構築をしていきたいと考えています。

奥尻高校における町立移管のスケジュールを大空町に置きかえるなら、本町の新しい高校は平成33年の開校を目指すというところで、3年前に当たる今年の1月には既に要望を行っていることとなります。

さらに、保護者からの早く進めてほしいとの意見や公設塾の早期開設に大きな期待を寄せられていることもあり、教育委員会としては、関係機関との調整や必要な準備を進めながら、できるだけ早い時期に北海道教育委員会に対し統合の要望を行うてまいりたいと考えています。

これまでの高校づくりにおけるさまざまな議論や町民の皆様からの多数のご意見を踏まえ、一定の方向性が見出され、共に新しい高校を応援していただく基盤ができるのではないかと感じております。



また、町立移管の奥尻高校と違い、大空町の場合は新しい高校として教育目標や教育課程を新たに編成しなければなら



新しい高校づくり町民講演会



議会ホームページをぜひご覧ください！

大空町ホームページ内に「議会
議員紹介、議事日程、会議録などを随時
ご家庭のパソコンやスマートフォン、
タブレット端末でもご覧いただけます。

▼検索サイト（Google や Yahoo など）で「大空町」と検索してください。



▼または右の QR コードを読み取りアクセスできます。



◇大空町ホームページのトップページ

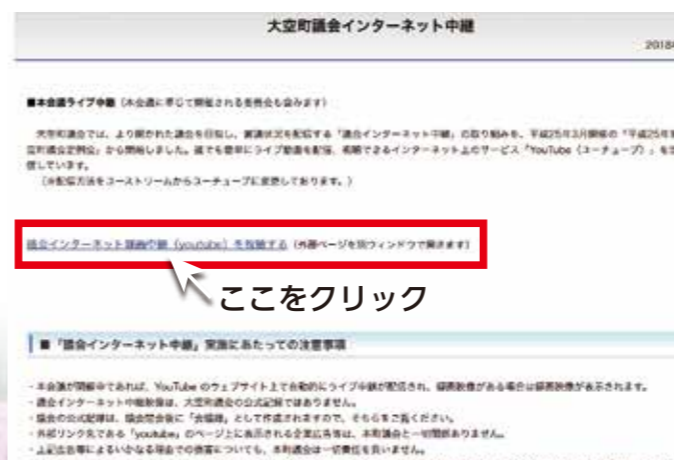


◇議会ホームページに移動します。



YouTube（外部サイト）に移動します。
ここで中継や録画を視聴することができます。

◇議会中継の視聴の方法



議会中継及び録画映像も視聴可能です！

大空町議会では、より開かれた議会を目指し、本会議の審議状況を「議会ホームページ」内の「議会中継」で配信しています。ご家庭のパソコン、スマートフォンやタブレット端末などで、好きな時間に過去に開催された録画映像を視聴することができます。また、本会議開催中であれば、YouTube のウェブサイト上で自動的にライブ映像が配信されますのでぜひご覧ください。

※注意（免責）事項

- ▼本会議が開催中であれば、YouTube のウェブサイト上で自動的にライブ中継が配信され、録画映像がある場合は録画映像が表示されます。
- ▼映像は大空町議会の公式記録ではありません。議会の公式記録は、議会閉会後に「会議録」として作成されますので、そちらをご覧ください。
- ▼インターネット回線状況やお使いのパソコン等環境、YouTube 社側のメンテナンス、議場配信機器の不具合により、映像や音声途切れるなど正常に視聴できない場合があります。その場合、本町議会での対応は困難となりますのであらかじめご了承ください。
- ▼大空町議会は YouTube 社と契約関係にないため、配信が正常に視聴できない、また何らかの損害が生じた場

- 合においても、本町議会は一切責任を負いません。
- ▼配信している映像の著作権は、大空町議会に帰属します。許可なく他のウェブサイトや著作物等への転載や内容の変更をしないでください。
- ▼スマートフォンやタブレット端末による視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金を請求されることがありますのでご注意ください。その際においても、本町議会は一切責任を負いません。
- ▼この本会議中継は、予告なく終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ▼その他中継映像に係る詳細等は YouTube のウェブサイトにてご確認をお願いします。

第3期目

議会広報モニターを募集します!!

議会だよりに町民の方の声を反映するため、議会広報モニター制度を導入しています。皆さんのいろいろな声により読みやすい議会だよりを目指していきたいと思います。ぜひご応募をお待ちしています!

任期	2年間（最初のモニター会議から）
募集人数	5人
役割	議会広報活動への意見などを議会広報モニター連絡会議（年2回予定）の場において提案いただきます。
謝礼	大空町商工会商品券 （会議参加1回につき 2,500 円）
応募方法	様式は問いません。「応募の動機」「氏名」「住所」「生年月日」「電話番号」を記入の上、郵送・FAX・持参により応募ください。
応募先	大空町議会事務局 住所：大空町女満別西3条4丁目1番1号 電話：0152-74-2111（内線 265・266） FAX：0152-74-2191
応募締切	平成 30 年8月 31 日（金）まで



体験・新入団随時募集中！
詳しくは事務局まで

〒099-3244
網走郡大空町東藻琴71-2
事務局 富田大介 TEL080-1235-1663

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

今後ともよろしく願っています。

議長 近藤哲雄（発行責任者）
委員 深川 昇
副委員長 上地史隆
委員 田中裕之
委員 三條幸夫
委員 後藤 忍

議会広報常任委員会
私たちが編集しました

（深川）

新しい議会広報のスタートです。多くの皆様に読んでいただける紙面を目指し、議会広報委員全員これから頑張っていくます。

西日本豪雨災害の時に見る様に、情報の伝達がいかに大事な様痛感しています。

伝える情報、伝わる情報、読者目線で発行したいと考えています。皆様のご指導よろしくお願いたします。

編集後記



UD FONT
議会だより「おおぞら」
第48号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行／大空町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／株式会社須田製版

住所／〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ <http://www.town.ozora.hokkaido.jp>